



地域経済担当の経済産業省大臣官房審議官を最後に7月退官し、ほどなくNPO法人「農商工連携サポートセンター」を設立し代表理事に就任した。「天下りせず」と気負ったわけではなく、「これらの人生を何か一つに尽くしてみたくなった」という。

経産省官僚を辞め NPO を設立 **大塚 洋一郎さん(55)**



東京生まれ。北海道大大学院修了(原子工学)。薬剤師の妻と2男。6度目のフルマラソン参加を目指す。

運動だ。昨年成立した農商工連携促進法の策定にかかわり、地域の課題を事業手法で解決する「ソーシャル・ビジネス」の研究会を主導したことが、第二の人生を踏み出すきっかけになった。「官庁に

は優れた人材が多いが、東京からの目線で仕事をしている。これからは地方目線で考え実行することが必要だ」旧科学技術庁に入り原子力行政に携わった。文部科学省宇宙開発利用課長だった03年

12月には、情報収集衛星の打ち上げに失敗し63.3億円が無駄になったと批判された。仕事を通じて知り合ったNPO関係者らと耕作放棄地の開墾に汗を流したり、農商工連携の普及のために各地を訪れる中で、「食への関心が高まっている今こそ農林水産業に活力を」との思いが募ったという。初年度はほぼ無給。応援者から「これまで『殿上人』だったから苦労するよ」と冷やかされるが、覚悟の上。まずは会員募集に汗をかく。ホームページ (<http://bio.g.canpan.info/noshokorenkei/>)。

文と写真・本谷夏樹

2009.8.24